

笠間市社会福祉協議会

北川根支部だより

第126号

発行日
発行
編集
印刷平成27年5月31日
笠間市社協北川根支部
北川根支部広報委員会
(有)クリエイティブサンエイ

代議員会(平成27年4月25日 社会福社会館)

去る四月二十五日に開かれました代議員会をもって、平成二十七年、北川根支部も活動が始まりました。

近年、地域社会では、少子高齢化・核家族化に伴う家族関係の変化や住民相互のつながりの希薄化などを背景に、社会的孤立や生活苦による不安、高齢



通い合う福祉地域作りには
—お互い様の気持ちで—
支部長 鈴木 裕

風薫る五月、会員の皆様方にはご健勝の事とお喜び申し上げます。皆様方には

当支部に日頃より一方ならぬお力添えを賜り心から感謝申し上げます。

お知らせ

当面のスケジュール

- ◇女性部研修
6月11日(木)
栃木県大田原市(旧黒羽町)方面
- ◇合同茶話会
10月26日(月)29日(木)
11月5日(木)
- ◇北川根ウォーキング
11月頃(予定)
- ◇支部研修
平成28年1月26日(火)

者に対する悪質商法の拡大など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、地域の方々の福祉に対するニーズも多様化しております。

そのような中で、本年度も子ども達の活動への支援、地域の約五百人を超える高齢者への支援、支部運営に多なるご奉仕を頂いている法人会員様への感謝の意、そして、皆様方の声に耳を傾け、『安心して楽しく暮らせる場』の提供の活動を進めていきたいと思



女性部総会を、4月25日の支部代議員会終了後開かれました。

女性部総会を開催(4月25日)

平成27、28年度役員

【社協北川根支部】

支部長	鈴木 裕 (留任)
副支部長	水田 諭 (留任)
副支部長	鶴田 浩一 (留任)
副支部長	上野 昌子 (留任)
副支部長	小川 慎吾 (留任)
会計	水庭 ちさい (留任)
監事	飯村 和司 (留任)
監事	氏家 明夫 (留任)
【女性部】	
部長	上野 昌子 (留任)
部長	塩崎 祥江 (留任)
部長	倉坂千代子 (留任)
計	水庭 ちさい (留任)

ます。

安心とは、何も言わなくてもわかる、自分の味方になってくれる場所、それは人間同士の理解と信頼の上にしか成り立たない。

(下重暁子著「家族という病」より)

地域に住んでいる方々が、互いに気にかけて『お互い様』の心が通い合う福祉地域への深まりに、行政区の支部委員さんと共に頑張っていきたいと思

皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成27年 4 月25日

平成27年度代議員会概要

社協北川根支部長 鈴木 裕

笠間市友部社会福祉会館

一般会計

(1) 収入の部

項 目	26年度決算	27年度予算	附 記
1. 繰越金	344,125	195,421	年度当初の事業資金
2. 会費還元金	792,750	800,000	
3. 助成金	129,275	130,000	
広報助成金	79,275	80,000	
福祉コミュニティ	50,000	50,000	
4. 寄付金	0	0	
5. 雑収入	51,038	30,000	
合 計	1,317,188	1,155,421	

(2) 支出の部

項 目	26年度決算	27年度予算	附 記
1. 総務委員会	909,912	815,000	
(1)声かけ運動	50,000	25,000	基金会計へ繰入
(2)地区行事助成	565,000	460,000	
①各区行事	330,000	220,000	地区行事助成金(11地区)
②区長会助成	30,000	30,000	北川根小学校校区区長会へ助成
③児童行事	115,000	120,000	北子運動会、北子遠球大会、北小運動会・収穫祭、2中体育祭
④高齢者助成	90,000	90,000	高齢者クラブ助成金(4地区)、グランドゴルフ大会補助
(3)研修	78,912	70,000	入館料、食事代、高速道路料金等
(4)在宅福祉	216,000	220,000	配食サービス材料費(12回分)、歳末見舞金
(5)その他	0	40,000	配食弁当法人会員試食、北川根ウォーク、ゴルフ
2. 広報委員会	86,752	100,000	支部だより(126号～128号)印刷費、作文お礼
3. 支部役員会等	19,681	20,000	事務消耗品・お茶
4. 女性部活動費	80,000	80,000	茶話会・研修会開催経費等
5. 予備費	25,422	140,421	
合 計	1,121,767	1,155,421	

(3) 収支決算

収入決算額	支出決算額	27年度繰越金
1,317,188	1,121,767	195,421

算報告、平成27年度事業計画、予算、規約の一部改正、役員会の改選等の協議を行い、全議案を、提案通り承認して11時過ぎに閉会しました。

平成27年度代議員会は、4月25日(土)午前10時から11時過ぎまで、笠間市友部社会福祉会館で開催されました。

■全議案を提案通り承認
水田副支部長が司会、鶴田副支部長が開会のことば、鈴木支部長が支部長あいさつを行いました。市社協

安心の地域づくりを

平成27年度
代議員会

の小池和夫事務局長、北川根小学校の増田真哉校長、友部第二中学校の西野勝美校長からの来賓あいさつがありました(市社協友部支所からは、片岡さんと松田さんが出席)。

その後、民生委員児童委員の赤津博さん(湯崎・田向地区区長)を議長に選出、平成26年度事業報告、決



【配食弁当の試食】
法人会員の皆様にお礼
社協事業は、個人会員と法人会員の皆様に支えられて活動しています。昨年、12月10日(水)、55女性部の活動の一端を知っていた

で配食のお弁当を作り、支部役員と民生委員児童委員が配達し、試食して頂きました。

『規約の改正』

「北川根支部規約」の一部が代議員会で改正されました。

改正の変更は、大きく分けて二つになります。

(1) 具体的にわかりやすくということで文言の訂正・追加

主な訂正箇所

◇文言訂正 役員 第4条(3) 支部役員 各行政区の代表(区長)
◇追加 4 支部役員会は、支部長、副支部長、会計、支部委員の代表(北川根区長会長・同副会長)で構成する。

(2) 役員の追加箇所

役員 第4 (6) 顧問 若干名

※ 追加に伴い、役員の職務にも追加があります。

* 紙面ですべてお伝えできませんので、改正された規約は、役員におたずねください。

なりました。



ん・共に学ばん・もと、教育目標心豊かで、実「まい生徒」のいます。特にし、生徒同士、して保護者が心を一つにしてすばらしい二中となるよう実践しています。そして、地

笠間市立友部第二中学校校長
西野 勝美

域と「共に」歩み、地域に誇れる学校でありたいと考えます。そのため、進んで学習する生徒、挨拶を進んでする生徒、他人を思いやる心をもち、自分を大切にできる生徒を育てます。地域の皆様には、日頃から生徒を温かく見守りいただき、また、挨拶運動にご参加いただき心から感謝申し上げます。今後も生徒の安心安全な学校生活のためご支援・ご協力をお願いいたします。

明るく元気な笑顔があふれる北川根小学校
共に語らん・共に学ばん・共に進まん（二中学校訓）



また、保護
ぎます。

笠間市立北川根小学校長
増田 真哉

者や地域の皆様が、子どもたちに
明るく声をかけてくださいます。
さらに、この温かさに支えられて
安心して生活しています。本校の
教育理念「明るく元気な笑顔があ
ふれる北川根小学校」が、「学校・
家庭・地域」三位一体となって築
き上げられています。誠にありが
とうございます。

北小4年生が、高齢者と グラウンドゴルフで交流

本校の4年生が、昨年12月5日(金)に北川根グラウンドゴルフ愛好会の方々とグラウンドゴルフの交流会を行いました。8つのグループに分かれ、児童は高齢者の方々にルールやマナーについて教わり、楽しく会話をしながら和気あいあいと進めることができました。最近では北川根地区でも核家族化が進み、三世代による交流を深める機会も減ってきています。今後もこのよう

■随分附地区茶話会■

賀川 優子

十二月十日、随分附集落センターに於いて茶話会を行いました。満七十歳以上の高齢者が、師走の寒いな、三十名程参加して下さいました。市から交通指導員の方と交通安全母の会の方を招いて高齢者の交通事故について、また交通ルール、マナー等お話ししていただきました。交通安全に對しての意識を高めることができました。と思います。

その後は、女性部手作りのけんちゃん汁や里芋の煮ころがし等を食べながら、近況報告や昔話をして楽しい時間を過ごしました。

帰り際に、おいしかった、ありがとうの言葉をいただき、これからも茶話会が続けていけたらと思いました。

な行事を通して、児童と地域の高齢者の方々の交流を深めていけたらと感じています。



北川根ふれあい広場で開催

(北川根小学校 小松崎栄一)

■青色防犯パトロール■

平成25年度に市防犯ボランティアに登録した「北川根子供見守り隊」、現在、毎月第二水曜日の午後、パトロール実施証を取得した役員が乗車して巡回しています。ボランティア



毎月第二水曜日に巡回

として、ご都合のつく方が多ければ、巡回日を増やせます。お声をかけください。

(鈴木)

※連載『わが地域』は今回、休みます。

「支部研修・交流会」報告

―平成27年1月28日―

支部役員・支部委員及び福祉推進委員等の交流を兼ね、友部公民館の「歴史出前講座」との共催で去る1月28日に実施されました。参加者は34名で、栃木県の足利学校・ぼんな寺・佐野厄除け大師の3ヶ所を見学しました。

往路車中、公民館事務局から突然足利学校の漢字試験問題が配られて全員大いに慌てましたが、あとで試験の点数にかかわらず入学証が交付されてホッとしたものです。日本最古の学校・足利学校の創建について



足利氏の氏寺、ぼんな寺で

は諸説ありますが、歴史的に明らかになるのは、室町時代の永享11年(1439年)、関東管領の上杉憲実が現在国宝に指定されている書籍を寄進し、鎌倉円覚寺から僧・快元を招いて初代の庵主(しようしゅ)校長)としてからのことです。

次に訪れた「ぼんな寺」は、足利氏の氏寺で、真言宗・大日派の総本山です。足利義康の子・上総介義兼が、建久7年(1196年)「城堀之内」に持仏堂を建てたのに始まり、寺院としての形態が整えられたのは子の義氏の時代といわれています。また、「ぼんな寺」という寺号が史料に登場するのは、建長3年(1251年)になってからです。

「大津栄」で昼食の後、関東3大師の「佐野厄除け大師」を見学しました。受験シーズン目前とあって、本堂は合格祈願をする人で溢れていました。

ご同行いただいた南先生の車中講義に加え、見学の都度説明があり、したので、参加者全員理解が深まり、大いに見聞を広げることができました。

(水田)

編集後記

新年度の活動が始まりました。紙面もカラー化されます(1・4面)。紙面引き続き「愛読をお願いします。(藤森)